



第 1606 回例会

平成 22 年 3 月 1 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4 階
[お誕生日、ご結婚お祝い]

1. 開会点鐘

- 2. 国歌斉唱 「君が代」
- 3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
- 4. ゲスト紹介 青少年交換学生 ティアゴ君
- 5. 出席報告
会員総数 69 名 出席者数 45 名
出席率 65.22% 前回修正出席率 76.81%

6. 会長スピーチ

会長 花畠 重靖 君

みなさん、こんばんは！バンクーバー冬季五輪が今日、閉会式しました。スピード国体追い抜き 0.02 秒差で日本女子「銀」をとりました。

南米チリで 2 月 27 日未明(日本時間 27 日午後)に起きた大地震に伴い、日本列島では 28 日午後、太平洋側を中心に北海道から沖縄までの広い範

囲で津波が観測されました。今回のエネルギーは 1960 年 5 月の時の 10 分の 1 以下とのこと。50 年前、1960 年 5 月のチリ地震の津波は早朝県内に到達し、大きな被害をもたらした。田辺市では最大 4.08m の津波を観測。県内でけが人はなかったが、総額約 14 億円の被害が出ました。

県によると、沿岸で計 945 戸が床上浸水、1205 戸が床下浸水した。海南市では 3.55m の津波を観測し船尾地区や日方地区で計 295 戸が床上浸水、762 戸が床下浸水しました。貯木場の紀州找約 1 万 6 千立方メートルが沖に流された。

黒江湾は「万葉集」以来の歌枕で大宮人などのあこがれの海浜であったが災害にも見舞われてきた。昭和 21 年の南海地震による大津波と、同 25 年のジェン台風による高潮などによって大被害を受けたため、大運動がおこり同 28 年に防潮防波堤(一文字堤防)が完成した。



◎そして先ほど話しましたが昭和 35 年(1960 年)、50 年前チリ津波によって、黒江湾埋め立て工事開始。

昭和 36 年黒江湾 290 万平方メートル中、55% にあたる 160 万平方メートルの大埋め立て工事が開始された。昭和 41 年 5 月に完成し、この地に近代的大工場を誘致することとなりました。

7. 幹事報告

幹事 寺下 卓 君

○例会臨時変更のお知らせ

岩出 RC

3 月 11 日(木)→3 月 7 日(日) 宝塚歌劇

ホテルオークラ神戸(例会) 宝塚観劇家族旅行
和歌山中 RC

3 月 26 日(金)→3 月 26 日(金) 午後 6:30

ルミエール華月殿

(第 4 回 10M テーマ発表、フリートーキング)

○休会のお知らせ

高野山 RC 3 月 12 日(金)

8. 委員会報告

○社会奉仕委員会

委員長 山名 正一 君

次回例会は、献血例会です。また、はがき、未使用テレホンカード・切手集めています。皆さんのご協力をお願いします。

9. 青少年交換学生スピーチ

ティヤゴ君



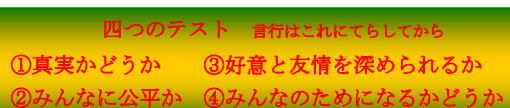
みなさん、今晚は。ようやく半年がすぎました。みなさんのサポートのお陰で、日本語の勉強も進み、大体は理解できるようになりました。私は日本の食事が大好きです。寿司、刺身も食べます。日本の文化や歴史も興味があります。また、いろいろなことを教えてください。

10. 閉会点鐘

次回例会 第 1607 回例会 : 22 年 3 月 8 日(月)

海南商工会議所 4 F 12:30~

[献血例会]



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花畠 重靖 幹事：寺下 卓 S A A : 名手 広之



ニコニコ・BOX



Happy Birthday

◆ 3月お祝い ◆

○会員誕生日

2日 山畠弥生君	19日 中村雅行君
3日 倉橋利幸君	27日 朝井 修君
13日 那須正志君	31日 山東剛一君
16日 小椋孝一君	

○奥様・ご主人誕生日

3日 楠部悦子様	16日 田岡美香様
10日 山野三保子様	17日 金川けい子様
12日 平尾美代子様	21日 花田恵子様
13日 横出美保様	23日 荻野真由美様

○結婚記念日

3日 上南雅延君	26日 岸 友子君
14日 中村文雄君	29日 土井元司君
15日 小椋孝一君	29日 辻 亮君
26日 深谷政男君	

○一般ニコニコ

名手 広之君	ひさしぶりに後ろの席にすわって うまいビールを飲みました。
山名 正一君	大成高校の廃校がさびしいです。
宮田敬之佑君	海南高校の卒業式に出席しました。
寺下 卓君	50年前のチリつなみの記憶あり。 親睦の行事でみなさんにお世話になりました
上田 善計君	出席委員長、欠席してすみません。
花畠 重靖君	写真のことで、良いことが。
山畠 弥生君	35周年行事で山名さんにお世話になりました。カレーをご馳走します
山田 耕造君	35周年パーティーの写真、プリンタ一直りしだい写真をくばります。
大江 久夫君	みなさんがありがとうございます。

ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS



ロータリーの友

ポリオ、ご年配の方には「小児まひ」といった方がわかりやすいかもしれません。かつて、日本でも大流行をしました。ポリオウィルスは手や足などに麻痺を起こさせることができます。肺の筋肉がまひすると、呼吸ができなくなって死に至ることもあり、足がまひして歩けなくなることもある恐ろしい病気です。

ポリオ撲滅に向けて始動

1979年9月、国際ロータリーは、フィリピンで、生後3か月から36か月の子ども約600万人に対して、5か年計画のポリオ免疫活動を始めました。これが、ロータリーがポリオ撲滅に取り組んだ第一歩です。1985年、国際ロータリーでは、ロータリー創始80周年に当たって、「ポリオ・プラス計画」を発表。日本国内では、募金総額40億円を最終目標として、1986

年7月から、5年計画のポリオ・プラスの募金キャンペーンが始まりました。日本中のロータリアンの積極的に取り組み、このキャンペーンが展開されていた1986年7月から1991年6月までの5年間で目標額をはるかに超える約49億円の寄付金を集めることができました。国際ロータリーでは、1989年6月までの3年間をキャンペーン期間としていましたが、この間で米貨2億4,700万ドル(約270億円)を集めました。これは目標額の2倍に相当します。

ロータリー100周年に向けて新たな展開

ロータリーが創立100周年を迎える2005年2月にまでにポリオの撲滅を実現しようと、国際ロータリーでは、2002年に、新たな「ポリオ撲滅キャンペーン」を展開しました。この時点で、ポリオは99%撲滅したといわれていましたが、残りの1%は、紛争地帯やへき地など、ワクチンを投与するのに困難な地域が多く、それまで以上に多くの資金とを必要としていました。目標額は8,000万ドル(約90億円)です。この結果、2003年6月末の時点で、誓約も含めて1億1,150万ドル(約126億円)以上が集まりました。



ポリオとの闘いを終わらせるために

2007年11月26日、国際ロータリーは、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団と協同して、世界ポリオ撲滅に必要とされる2億米ドルを投入することを発表しました。ゲイツ財団から1億ドルの補助金を受領したロータリー財団は、この時点から3年間にこれと同額の資金を調達するための募金活動を行っていくことになっています。2009年1月、ビル・ゲイツ財団は国際ロータリーに対して、さらに2億5,500万ドルを寄付。国際ロータリーではこれを受けて、2012年までにさらに1億ドル、2007年11月にスタートしたものと合わせて2億ドルの資金を集めることを表明しました。全世界のロータリアンは、「ロータリー2億ドルのチャレンジ」と称し、ポリオ撲滅のための資金集めをしています。

現地でワクチン投与活動

さて、1979年、ロータリーが初めてポリオの撲滅に乗り出して以来、ロータリアンたちは、もちろんお金を集めただけではありません。多くのロータリアンが道路もないようなへき地に分け入り、紛争地帯に赴き、実際にポリオワクチンを子どもたちに届けるための活動もしています。紛争地帯では、双方の代表者を説得してポリオワクチン投与のために一時休戦にしたり、宗教上などの理由からポリオワクチンの投与を拒む人々を説得したり、さまざまな活動をしてきました。世界中のさまざまな地域にロータリークラブがあり、ロータリアンたちが活動をしています。それぞれの地域で、ロータリアンたちがさまざまな形で、すべての子どもたちにポリオワクチンの投与するために努力を続けています。